

南房総 de デジタルアート ワークショップ！

2024年3月5日(火)、千葉県南房総市立富山中学校で、デジタルアートワークショップを開催。

美術の授業で、7年生(中学1年生)27名が柳生千裕さん制作の線画にタブレットを使って彩色するデジタルアート制作に挑戦しました。



「パターン」というアプリ機能を使って制作

画面をタップし線画に彩色を施す

ヒョウ柄の「パターン」を使いできあがった生徒の作品

ワークショップは、柳生さんの作品の制作風景等の動画の視聴から始まります。

生徒達はアプリの操作方法を事前学習済み。今回は、イヌ、ライオン、チンパンジーの線画の中から好きな線画を選んで、アプリを使って彩色を進めていきます。

単色で彩色するだけでなく、アプリの機能を使って、様々な柄が入った「パターン」を用いて色を変える等の工夫や、細かい部分にグラデーションで彩色する等、集中して制作に取り組んでいました。



柳生さんの作品に刺激を受けて制作に取り組む生徒



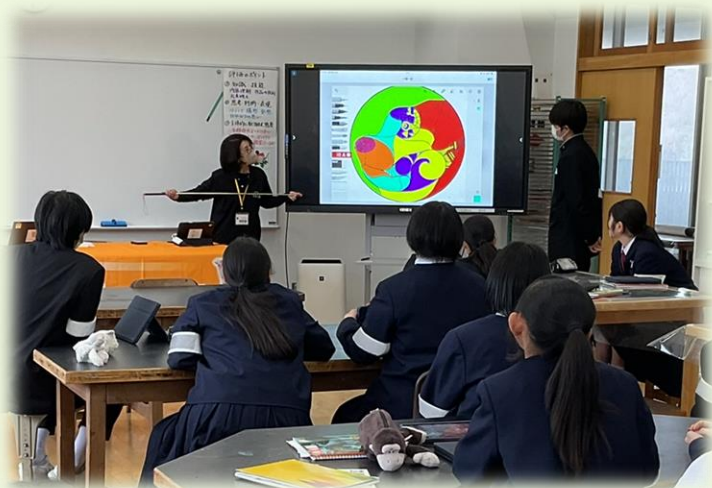
千葉県南房総市立富山学園
小学校・中学校(小中一貫校:
1~9年生)に、保育所・幼稚
が併設された学園。0歳から
15歳までの子ども達が集っ
ている。



柳生 千裕(やぎゅう ちひろ)さん
ルーラーアート作家。兵庫県西
宮市在住の中学3年生。9歳
から創作活動を開始。見た人
が楽しく元気になれる絵を目
標に描く



生徒一人ひとりの思いのこもった作品がたくさん出来上がりました。
全ての作品をまとめた作品集を発行予定です。



作品作りを終え、作品発表タイム！
生徒を代表して9名が、どんなテーマで制作したか、どんな工夫をしたか等を発表しました。

作品のテーマでは、元素の周期表をベースに化学をテーマにした生徒や、ポケモンをテーマにキャラクターの色をイメージして制作した生徒もいました。

時間が足りなかったという生徒の声もある中、「楽しく活動ができた！」と最後に元気な声が聞けたワークショップとなりました。



ワークショップを終えて・・・

以前から今回使ったアプリを体験していた生徒達だからこそ、アプリの機能を活用して作品に反映でき、皆の個性が活かされた作品ばかりになりました。生徒同士が手法を共有して、どんどん作品がパワーアップしていきました。先生が飛び入り参加し生徒と活動され、先生の作品発表では、生徒が大盛り上がり。生徒と先生の和気あいあいとした雰囲気が感じられました。

(財団事務局:中 千鶴)



(上)発表風景、(下)先生も飛び入り参加をして制作活動

—先生にワークショップ開催のきっかけや感想を伺いました—



柳生さんのアート作品に感銘を受け、色で表現するアート制作の体験機会として生徒達にチャレンジして欲しいと思いました。タブレットを使った活動の授業の幅も広がり、何より生徒が楽しみながら作品作りができたのは良かったです。

古谷 真美江先生

タブレットを活用した授業はこれまでもにも実施してきましたが、今までと違う体験ができたかと今回お願いしました。生徒達が、これまでの経験も活かしながら工夫して活動できていたので、いい授業になりました。

篠原 準先生

